

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いやしのさと作成日: 令和 元 年 8 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	保育園や小学校との交流は行っているが、利用者や職員が地域の行事や活動に参加する事が難しくなっているため、職員の勤務体制の見直しを行い、地域交流が広がるよう取り組んでいく。	地域住民やボランティア、家族の協力を得て、地域の行事や活動に積極的に参加して、地域の一員としての交流を広げ、利用者の生きがいに繋げていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	経験豊かな職員によって、安定した介護サービスを提供できているが、これから10年後を見据え、次世代の職員の確保、育成に向けて積極的に取り組んでいく。	若手の職員や資格のない人でも人柄の良い職員を採用し、新人研修や習熟度に合わせた研修の受講や現場でベテラン職員がについての教育等、人を育てる体制を整え、今後のホームの発展に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。